

coffee wakes up the world



## 取扱説明書



Coffee machine **2000 S**

01.04.001

このたびはWMFコーヒーマシンをご採用いただき誠にありがとうございます。

コーヒーマシン WMF2000Sはエスプレッソ、カフェクレーム、カプチーノ、ミルクコーヒー、ラテマッキヤート、泡立ちミルク、熱湯を一杯ずつ全自動で提供するマシンです。オプションとしてスチーム供給、2種類のホットチョコレート飲料を供給する機能を付けられます。(ツインチョコ)

オプションのデカフェボタンで二番目のコーヒー豆ホッパーのカフェインレスコーヒーを全ての種類のコーヒー飲料に利用できます。

一回ボタンを押すだけで常に高品質で新鮮な飲料を提供できます。  
コーヒーマシンパネルのディスプレイには操作説明が表示されます。



マシン使用を開始される前に必ず取扱説明書をお読みください。

取扱説明書は常に手近な場所に保管してください。

重要! 第1章の概要説明の中のマークや記号をご理解いただき、安全に関する記述の章をお読みください。



規定の保守・点検作業がなされなかった場合に生じた不具合については保証できかねることがありますので、ご注意ください。(保証についての章をご参照ください)

第1章 はじめに	6
取扱説明書に使われている注意記号	6
1. 各部の名称	7
第2章 マシンの操作	8
2.1 マシンのスイッチを入れる	8
2.2 飲料の供給	8
2.3 デカフェボタン(オプション)	8
2.4 シフトボタン	8
スペシャルボタン	8
2.5 熱湯の供給	9
2.6 ミルクまたはミルクフォーム	9
2.6.1 ミルクまたはミルクフォームの供給	9
2.6.2 ミルク容器との接続	9
WMFミルククーラー、WMFカップアンドクール(オプション)	9
標準	9
2.7 スチームミルク/デュアルミルク(オプション)	10
2.8 コンビ供給口の高さ調整	10
2.9 コーヒー豆ホッパーと粉ホッパー	10
2.10 ツインチョコホッパー(オプション)	10
2.11 マニュアル投入/洗浄用錠剤投入	11
2.12 カスウケ	11
2.13 台下のカスウケ(オプション)	12
2.14 ドリフトレー	12
2.15 コーヒーマシンのスイッチを切る	12
第3章 ソフトウェア	13
3.1 概要	13
3.2 供給可能のディスプレイ	15
通常操作の標準ディスプレイ	15
SBモード(セルフサービス)の標準ディスプレイ	15
3.2.1 ホットリンスパッド	15
3.2.2 バリスタパッド	15
3.2.3 インフォメーション	15
サービス	15
お客様による手入れ	15
抽出時刻	15
レポート	15
タイマー	16
3.2.4 メインメニューへ	16
3.3 メインメニュー	16
3.3.1 ミルクとミルクフォーム	16
ミルクフォームの質	16
ラテマッキャート供給時の中断時間	16
3.3.2 タイマー設定	17
タイマー作動状態	17
タイマーの設定	17
タイマー設定全体の確認	17
1日分の設定のコピー	18
タイマー設定一覧	18
タイマー設定の取り消し	18
タイマー設定の情報	18

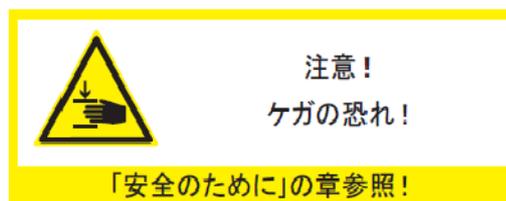
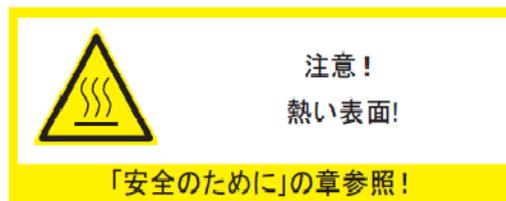
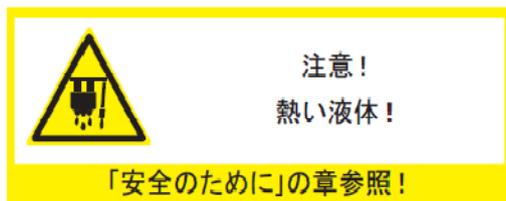
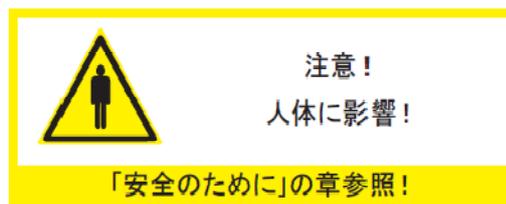
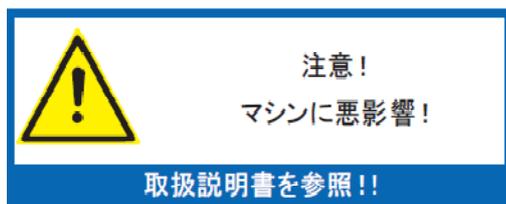
3.3.3	お客様によるお手入れ	19
	洗淨プログラム	19
	ミルクフォーマーの洗淨	19
	ミキサーのリンス	19
	フィルターの交換	19
	お客様による点検	20
	抽出部の交換	20
3.3.4	設定	20
	作り方と供給ボタン	20
	設定時の飲料供給ボタンの決定	20
	第二レベルの飲料ボタンの決定	20
	事前に設定したS, Lまたはデカフェ機能とを組み合わせた飲料ボタンの設	20
	量の変更	20
	現在の設定でテスト抽出	20
	設定値の保存	20
	カップの容量	21
	作り方の変更	21
	スチームミルクの設定(オプション)	21
	デカフェ供給の設定(オプション)	21
	飲料ボタンへの割り当て	22
	コーヒーのグラインダーの選択	22
	チョコレート飲料のポーションの選択	22
	コーヒー粉の計量	22
	ボイラー温度	22
	リセット	22
	日付/時刻	22
	使用言語	22
	ディスプレイのコントラスト	22
	ホットリンス	23
	その他の操作	23
	照明	23
3.3.5	PIN(暗証番号)入力	24
3.3.6	PINアクセス制限	24
	洗淨レベル	24
	設定レベル	24
	会計レベル	25
	PINの解除	25
3.3.7	会計(供給数)	25
第4章	お客様によるお手入れ	26
4.1	毎日のお手入れ	27
4.1.1	洗淨プログラム	27
4.1.2	ミルクシステムの洗淨	27
	ミルクフォーマーの洗淨(標準)	27
	ミルクフォーマーの洗淨(プラグアンドクリーン)	27
4.1.3	ミキサーのリンス	27
4.1.4	コンビ供給口の洗淨	27
4.1.5	その他の清掃	28
	「毎日の洗淨」の手順	29
	標準仕様のクリーニング	29
	プラグ アンド クリーン仕様のクリーニング	32
4.2	毎週の洗淨	35
4.2.1	抽出部の清掃	35
4.2.2	チョコミキサーの洗淨	36
4.3	定期的な清掃	37
4.3.1	コーヒー豆ホッパーの清掃	37
4.3.2	チョコホッパーの清掃(オプション)	37
4.4	スチームミルク供給口の清掃	38

第5章 保守点検	39
5.1 コーヒーマシンの保守	39
5.2 WMFのサービス	39
第6章 画面表示とヒント	40
6.1 操作に関する表示	40
6.2 エラー表示と作動不具合	41
6.3 エラー表示の出ない作動不具合	42
第7章 安全のために	44
7.1 人体への悪影響	44
7.2 マシンへの悪影響	45
7.3 規制及び指針	45
7.4 所有者の方、操作する方の責任	45
7.5 保証について	46
保証除外について	46
付録: 技術データ	47
コーヒーマシンの仕様	47
設置と使用の環境	47

---

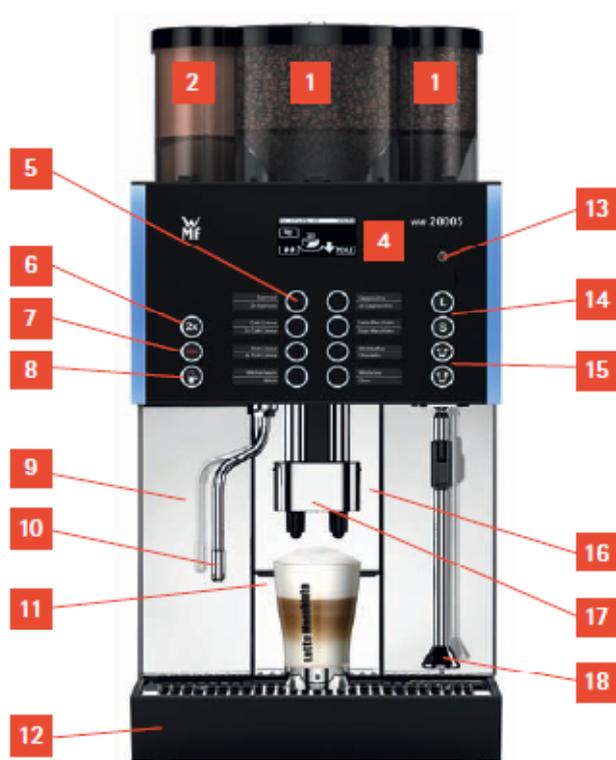
## 第1章 はじめに

取扱説明書に使われている注意記号



安全に関しては、第7章の「安全のために」をご参照ください。

## 1. 各部の名称



- |                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| <b>1</b> コーヒー豆ホッパー(1基または2基)         | <b>14</b> スペシャルボタン          |
| <b>2</b> チョコホッパー(モデルによりツインチョコホッパー)  | <b>15</b> スチームミルクボタン(オプション) |
| <b>3</b> マニュアル投入口/洗浄錠剤投入口(モデルによります) | <b>16</b> フロントカバー           |
| <b>4</b> タッチパネルディスプレイ               | <b>17</b> ミルクフォーマー付コンビ供給口   |
| <b>5</b> 飲料(供給)ボタン                  | <b>18</b> スチームミルク供給口(オプション) |
| <b>6</b> シフトボタン(第2レベルへ)             | <b>19</b> 抽出部               |
| <b>7</b> デカフェボタン(オプション)             | <b>20</b> ウォームリンスパッド        |
| <b>8</b> 熱湯(供給)ボタン                  | <b>21</b> パリスタパッド           |
| <b>9</b> プラグアンドクリーン(オプション)          | <b>22</b> タイマーと時刻表示         |
| <b>10</b> 熱湯供給口                     | <b>23</b> インフォメーションパッド      |
| <b>11</b> カスウケ                      | <b>24</b> ガイドとエラー表示         |
| <b>12</b> ドリップトレイ(取り外し可能)           | <b>25</b> メニューパッド(メインメニューへ) |
| <b>13</b> オン/オフ ボタン                 |                             |

## 第2章 マシンの操作

### 2.1 マシンのスイッチを入れる

- \* オン・オフ ボタン  を約2秒間押し続けます。コーヒーマシンのスイッチが入り、加熱を始めます。飲料の供給が可能になると、「準備完了」(供給可能)の表示が出ます。



PIN対応  
⇒ソフトウェア  
⇒設定  
⇒その他の操作  
23ページ

タイマー設定は17ページ参照

### 2.2 飲料の供給

飲料ボタンを押すと選択した飲料の供給が始まります。

- ボタン点灯 = 供給可能(準備完了)
  - ボタン点滅 = 飲料供給中
  - ボタン消灯 = 供給不可(ボタンは動きません)
- \* 供給口の下に適した大きさの容器を置きます。
  - \* お望みの飲料ボタンを押します。



供給口から熱い液体が出ます

希望した飲料が供給されていることをディスプレイが表示します。

「安全のために」の章参照！

### 2.3 デカフェボタン(オプション)

カフェインレスコーヒーをデカフェグラインダーから供給します。

- \* デカフェボタンを押します。
- \* 希望するコーヒーのボタンを押します。



飲料ボタンの登録  
⇒ソフトウェア⇒設定  
⇒作り方と供給ボタン  
20ページ

### 2.4 シフトボタン

それぞれの供給ボタンは2種類の飲料を供給できます。通常はレベル1の状態です。

- \* シフトボタン(2X)を押します。レベル2が有効になります。
- \* 希望する飲料のボタンを押します。レベル2の供給が終わると、レベル1に戻ります。



シフトボタン(有効/無効)  
⇒ソフトウェア⇒設定  
⇒その他の操作  
23ページ

### スペシャルボタン

コーヒー供給量をSサイズとLサイズを選択ができる機能をオプションで操作パネルに設けることができます。量は前もって設定しておきます。

- M = 通常の設定量です。
- S = Mよりも約25%少なく供給します。
- L = Mよりも約25%多く供給します。



## 2.5 熱湯の供給

- \* 熱湯供給ボタンを押します。  
供給が始まります。  
供給中に止めたいときは、もう一度ボタンを押します。



## 2.6 ミルクまたはミルクフォーム

### 2.6.1 ミルクまたはミルクフォームの供給

- \* ミルクまたは泡立ちミルクに設定した飲料ボタンを押します。  
供給が始まります。ボタンを押している間、供給されます。

### 2.6.2 ミルク容器との接続

コンビ供給口に目的に則したノズルを使います。

- |           |        |
|-----------|--------|
| ミルクノズル    | 3. 9KW |
| ● 冷蔵したミルク | 茶      |
| ● 室温のミルク  | 自然色    |



ミルク容器とクーラー

### WMFミルククーラー、WMFカップアンドクール(オプション)

- \* ミルクノズルをコンビ供給口の接続部に入れます。
  - \* ミルク容器を引き出します。
  - \* ミルク容器のカバーを押し戻します。
  - \* ミルク容器にミルクを入れます。
  - \* 容器にカバーを戻します。
  - \* ミルクホースのアダプターをカバーの接続部に入れます。
  - \* ミルク容器を注意してクーラーに戻します。
- ミルクホースはアダプターの中に入ります。



クーラーアダプター

### 標準

- \* 目的に則したミルクノズルをコンビ供給口の接続部に入れます。
- \* ミルクのパックを開けてコーヒーマシンに向かって左側に置きます。
- \* ミルクカバーを開きます。
- \* ミルクホースを入れます。
- \* ミルクのパックにベージュ色のノズルを付けたホースを入れます。  
コンビ供給口を上下したときに、ホースが突っ張ったり、折れ曲がらないようにしてください。
- \* ミルクカバーと閉じます。



標準:ノズルを差し込みます



ミルクホースを入れます。

## 2.7 スチームミルク/デュアルミルク(オプション)

ミルクを自動で温めたり、泡立てます。  
ホットミルクやミルクフォームの質を4段階に設定できます。  
工場出荷時にはミルクフォームの質を3段階に設定してあります。(極微小、微小、標準)

### ミルク温め、またはミルク泡立て

- \* なるべく細長い容器に適量のミルクを入れます。
- 泡立っているミルクがあふれ出ないように、ミルクの量は容器の半分以下にしてください。
- \* スチームノズルを容器の中に深く入れます。
  - \* 希望するスチームミルクボタンを短時間押します。
- スチームボタンに設定したとおりにノズルからスチームが出ます。  
設定した温度に達するとスチームが止まります。  
またはボタンをもう一度押すと止まります。
- \* 湿った布巾でスチームノズルを清拭してください。



スチームミルクボタン



ボタンの割り振り  
⇒ソフトウェア⇒設定  
⇒作り方と供給ボタン  
20ページ  
⇒作り方の変更  
21ページ

## 2.8 コンビ供給口の高さ調整

コンビ供給口の高さは調整できます。  
\* 前面からコンビ供給口を持ち、適当な高さまでスライドします。

### コンビ供給口の高さ調整範囲

チョコ供給付           50mm - 180mm  
チョコ供給なし       50mm - 190mm



## 2.9 コーヒー豆ホッパーと粉ホッパー

ホッパーには常に補充をしてください。  
供給する商品の新鮮さを保つためにホッパーには一日に使う量を  
補充するようにしてください。

コーヒー豆は豆ホッパーに  
チョコパウダーはチョコホッパーに

## 2.10 ツインチョコホッパー(オプション)

2種類のチョコパウダーを使い分けるためにホッパー内が二つに分けられています。

- 右側がチョコ1
- 左側がチョコ2

## 2.11 マニュアル投入／洗浄用錠剤投入

ホッパーを3基装備したマシンには洗浄用錠剤の投入口だけがあります。洗浄用錠剤の投入口にコーヒー粉は絶対に入れないでください。

洗浄用錠剤の投入口はマシンカバーの中央にあります。

### 洗浄用錠剤専用投入口：

- 洗浄用錠剤専用です。

### マニュアル投入口：

- 洗浄用錠剤投入
- カフェインレスコーヒーなどの特別なコーヒー粉で抽出するとき
- コーヒーを試飲するとき

投入口に洗剤やコーヒー粉を入れるときは、必ずディスプレイを確認してください。

### マニュアル投入口を使ってコーヒーを抽出

- \* マニュアル投入口のフタを開きます。
- \* コーヒー粉を入れます。(最大15g)
- \* マニュアル投入口のフタを閉じます。
- \* 希望する抽出ボタンを押します。

レベル2のコーヒーを抽出するときは、マニュアル投入口を開く前にシフトボタンを押します。

## 2.12 カスウケ

カスウケは抽出の終わったコーヒーカスを入れます。抽出約50回分の容量があります。カスウケの中のカスを捨てる時期は、マシンのディスプレイに表示されます。カスウケがマシンから出されている間、抽出はブロックされます。

- \* コンビ供給口を一番上まで上げます。
- \* フロントカバーをカスウケより上の位置まで押し上げます。
- \* カスウケを引き出します。
- \* カスウケをカラにしてマシン内に戻します。
- \* ディスプレイの確認を押します。

毎日洗浄してください。⇒クリーニング

カスウケがうまく入らないときは、コーヒーカス排出部分にカスが詰まっていないかチェックして清掃してください。

カスウケをマシンから出したときは必ず中のカスを捨ててください。カラにせずに戻してしまうとカスがあふれ出る元になります。結果としてマシン内部が汚れてしまい、故障の原因になることがあります。



取扱説明書に従ってください

「安全のために」の章参照！



錠剤投入口



取扱説明書に従ってください

「安全のために」の章参照！



マニュアル投入口



フロントカバー



カスウケ



注意!  
ケガのおそれ!

「安全のために」の章参照！



取扱説明書に従ってください

「安全のために」の章参照！

## 2.13 台下のカスウケ(オプション)

コーヒーマシンは台下のカスウケにカスを落とすことができます。  
この場合、コーヒーマシンの底、カスウケの底に排出口を設け、  
台にもマシン直下に穴を開けます。  
マシンの中のカスウケよりも大きな容量のカスウケを使用できます。



台下へ落とす方式にすると  
元に戻すことはできません。

コーヒークスのシューターは  
毎日清掃してください⇒その他の清掃  
28ページ

## 2.14 ドリップトレイ

- \* 中身をこぼさないように注意してドリップトレイを引き出します。
- \* 中身を捨ててトレイを元に戻します。

トレイの取り扱いは中の汚水をこぼさないように注意してください。



注意!  
熱い液体”  
ドリップトレイの扱いに  
注意してください  
「安全のために」の章参照!

## 2.15 コーヒーマシンのスイッチを切る

コーヒーマシンのスイッチを切る前に必ず毎日の洗浄をしてください。

- \*  オン・オフボタンをコーヒーマシンが停止するまで押します。
- \* 主電源のプラグを抜きます。(または主電源スイッチを切ります)
- \* 給水栓を閉じます。

この操作を怠って故障した場合、保証修理が受けられなくなることがあります。



PINアクセス制限  
⇒ソフトウェア  
⇒設定⇒その他の操作  
23ページ



取扱説明に従ってください  
「安全のために」の章参照!

## 第3章 ソフトウェア

### 3.1 概要

#### 供給可能



供給可能の表示の空白部分にタッチします。  
次の手順の表示が出ます。



供給可能の表示には種々の機能が出ています。



エラーがあると  表示が出ます。  
洗淨  カルキ除去  フィルター交換が必要になると、夫々表示されます。  
その他の表示⇒設定⇒その他の操作

#### 供給可能表示



ホットリンス(3.2.1)

セルフサービスとその他の操作  
⇒設定  
23ページ



バリスタ(コーヒーの濃さ) (3.2.2)



インフォメーション(3.2.3)



メインメニュー(3.2.4)



エラー表示

パッドにタッチするとエラー内容が表示されます。

手入れ(保守)表示

パッドにタッチすると直接メニューに入ります。



洗淨必要時期



カルキ除去必要時期

## メインメニューの機能(パッド)

	ミルクとミルクフォーム(3.3.1)
	タイマー設定(3.3.2)
	お客様によるお手入れ(3.3.3)
	設定(3.3.4)
	PIN(暗証番号)入力(3.3.5)
	PINへのアクセス制限(3.3.6)
	会計(3.3.7)

## メニューの設定パッド

	設定の保存
 	ステップの開始または確認
	前のレベルへ移動 セーブせずに出る(EXIT)
	クリアまたはリセット
	テスト抽出開始 コーヒー粉チェック
 	設定値の増減
 	リストのステップ項目の移動

## 3.2 供給可能のディスプレイ

### 通常運転時の標準ディスプレイ

- ホットリンス パッド
- バリスタパッド
- メニュー
- インフォメーション



### SBモード(セルフサービス)時の標準ディスプレイ

変更する機能を持ったパッドは全て表示されません。  
温めリンスパッド、バリスタパッド、メニューパッド、インフォメーションは無効になります。  
不具合がおきたときは、 パッドが表示されます。



#### 3.2.1 ホットリンス パッド

- \* ホットリンスパッド  にタッチします。

抽出関連のパイプ内に熱湯が流れます。抽出の管路を熱湯が  
温め、ぬるいコーヒーが供給されるのを防ぎます。

しばらく抽出をしなかったとき、特に  
エスプレッソコーヒーを抽出するとき  
におすすめします。  
おすすめします。  
「設定」の章を参照ください。  
⇒設定⇒その他の操作  
23ページ

#### 3.2.2 バリスタパッド

- \* バリスタパッド  にタッチします。  
コーヒーの濃さが次の1回分だけ変わります。



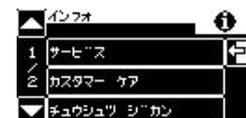
#### 3.2.3 インフォメーション

- \* 供給可能ディスプレイの  パッドにタッチします。  
インフォメーションのメニューが出ます。  
「インフォメーション」のメニューは次の通りです。

バリスタパッドの有効・無効については  
「設定」の章を参照ください。  
⇒設定⇒その他の操作  
23ページ

### サービス

- 連絡先(WMFサービスセンター)
- 初めての始動(始動日)のデータ
- 次のメンテナンス日
- ソフトウェアのバージョン



### お客様によるお手入れ

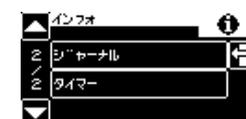
- レポート  
一番最近の洗浄日
- 洗浄についての情報  
最近の洗浄についての情報
- カルキ除去についての情報  
最近のカルキ除去・次のカルキ除去
- 軟水器の情報(オプション)  
残りの容量の情報

### 抽出時刻

- 最後の供給時刻を表示します。

### レポート

- 記録されたエラーとメッセージのリスト  
(電話でのサポートのため)



## タイマー

- タイマーがオンかオフかの表示
- 次にスイッチが入る時刻

### 3.2.4 メインメニューへ

#### メインメニューへのアクセス

- \* 供給可能画面の空白部分にタッチします。  
次のパッド表示が出ます。
- \* **MENU** にタッチします。  
メインメニューが表示されます。



抽出可能表示



次の表示(メニュー)

## 3.3 メインメニュー



### 3.3.1 ミルクとミルクフォーム

#### ミルクフォームの質

ここではミルクのアワの質を設定します。  
この設定は泡立ちミルクを使った全ての飲料に適用されます。  
ミルク自体の質の違いを補完します。

- 設定値を下げると ⇒ キメ細かく、供給温度低く
- 設定値を上げると ⇒ キメ粗く、供給温度高く

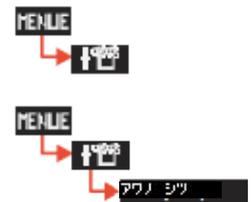
#### ラテマッキヤート供給時の中断時間

ラテマッキヤートを作るとき、ミルク供給と泡立ちミルク供給の間に  
休止時間を長く取ると、より効果的な提供ができます。  
標準の設定時間は3秒です。

- 設定値を下げると ⇒ 短い時間
- 設定値を上げると ⇒ 長い時間



アクセス制限を設ける場合⇒  
PINアクセス制限を参照  
24ページ



### 3.3.2 タイマー設定

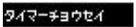
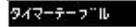
オンとオフの時刻を設定します。  
メインの「タイマープログラム」メニューは次の内容です。

- タイマー作動状態
- タイマーの設定
- タイマー設定一覧
- タイマー設定の取り消し
- タイマー設定の情報

#### タイマー作動状態

\*  パッドにタッチします。  
タイマーのオン/オフ

#### タイマーの設定

\*  パッドにタッチします。  
オン/オフの時刻を設定します。  
\*  パッドにタッチします。  
作動させる時刻の表示が出ます。  
日、時刻、希望する行程の入力ができます。

- \* 日の設定
  - 1=月曜日
  - 2=火曜日のように進み、最後の7=日曜日
  - 1-5=月曜日から金曜日まで通して毎日(週日)
  - 1-7=1週間毎日(月曜日から日曜日まで)

- \* 時刻の設定
  - \* スイッチ オン・オフ時刻の設定
    - スイッチ オン時刻=ディスプレイの 
    - スイッチ オフ時刻=ディスプレイの 
  - \*  で確認します
- または
- \*  で削除します、

#### タイマー設定全体の確認

\*  の下の  パッドと  パッドにタッチします。  
設定した1日に16回分までのスイッチオン・オフの時刻が表示されます。  
設定時刻は順番に表示されます。  
新しく入力した設定時刻は  で確認直後に直ちにソートされます。

- \* タイマー設定一覧を見るには  パッドにタッチします。



PIN入力、アクセス制限  
⇒ソフトウェア⇒設定  
⇒PIN入力、アクセス制限  
24ページ



タイマーがオン状態のとき、画面に  
小さな時計が表示されます。



例  
1-5の日、または1-7の日  
スイッチの入る時刻は表示された日に  
コピーされます。

希望の設定は「+」、「-」の  
パッドで変更します。

更新した選択は反転表示されます。

 と  パッドで希望する設定を  
選択します。  
選択した箇所が反転表示されます。

## 1日分の設定のコピー

1日の作業内容も含むスイッチオン・オフの設定は他の日にコピーできます。

- \* **タイマーコピー** パッドにタッチします。

スイッチオン・オフの時刻を設定します。

- \* **トウサシカン** パッドにタッチします。
- \* 「Day」の下の数字のパッドにタッチします。

一週間の日を選ぶリストが表示されます。

- \* 画面の4ページにスクロールします。
- \* **コピー** パッドにタッチします。

1週間の日を選ぶリストが再表示されます。

- \* コピーしたい日を選択します。
- \* **ヒニチコピ** パッドにタッチします。
- \* 設定時刻を貼り付けたい日を選択します。

1日の設定がコピーされました。

## タイマー設定一覧

設定した時刻を確認します。

- \* **タイマーテーブル** パッドにタッチします。

一週間分の設定がグラフで表示されます。

作動している時間帯が塗りつぶされて表示されます。

## タイマー設定の取り消し

- \* タイマーメインプログラムメニューの2ページ  
**タイマージョウキョ** パッドにタッチします。

- \* 希望する日にスクロールしてタッチします。

削除を本当にしてよいかどうか確認の質問が出ます。

- \* **OK** で確認します。

選択した日の設定時刻と作動内容が削除されます。

それぞれの日に加えて、全ての週日、週全体の削除もできます。

## タイマー設定の情報

**タイマージョウキョ** パッドにタッチすると次にスイッチが作動する時刻とオンまたはオフの表示が出ます。

1-5の日または1-7の日  
オン・オフの時刻は表示された日に  
コピーされます。

1, 2, 3...7それぞれの日の  
設定が表示されます。



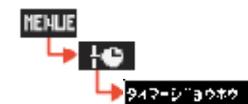
設定時刻の確認は  
「タイマー設定一覧」を参照ください。



月曜日から金曜日(1-5)までの表示  
スイッチオンの時刻7時、オフ18時



この作業は途中で中止できません。



### 3.3.3 お客様による手入れ

お客様による手入れは洗浄プログラムから始まります。

- 洗浄プログラム
- ミルクフォーマー洗浄
- ミキサーの rinse
- お客様による点検
- 抽出部交換

#### 洗浄プログラム

- \* **クリーニングモード** パッドにタッチします。

毎日の洗浄プログラムを開始します。

洗浄プログラムはミルクフォーマーの洗浄、ミキサーの洗浄、マシンの洗浄と段階を追って進行します。

洗浄プログラムの行程説明は洗浄の説明の章にあります。

洗浄を始める前に「安全」に関する章の警告をご参照ください。  
39ページの洗浄及び保守の項をご参照ください。

#### ミルクフォーマーの洗浄

- \* **フォーマークリーニング** パッドにタッチします。

ミルクフォーマーの洗浄を開始します。

オプション: プラグアンドクリーン洗浄

ミルクフォーマーの洗浄は洗浄全体の一部として自動的にされます。

#### ミキサーのrinse

- \* **ミキサーrinse** パッドにタッチします。

ミキサーのrinseが始まります。

ミキサーシステムが装備されているマシンでは  
洗浄プログラムの開始でミキサーのrinseが自動で始まります。

#### フィルターの交換

この項はWMFサービスが対応できないときに、講習を受けた熟練の方だけが実施するようにしてください。

フィルター交換(オプション)と手入れの確認をします。



ディスプレイ表示に従っての作業は  
「お客様によるお手入れ」の章を参照ください。

一般的な洗浄・清掃については  
「お客様によるお手入れ」の章を参照ください。



⇒ 洗浄説明



取扱説明書参照!

「安全のために」の章参照!

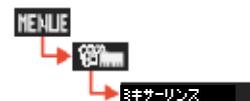


ミルクフォーマーの洗浄⇒  
27ページ保守



供給口付近熱湯!

「安全のために」の章参照!



供給口付近熱湯!

「安全のために」の章参照!

## お客様による点検

この項はWMFサービスが対応できないときに、講習を受けた熟練の方だけが実施するようにしてください。

## 抽出部交換

この項はWMFサービスが対応できないときに、講習を受けた熟練の方だけが実施するようにしてください。

### 3.3.4 設定

#### 作り方と供給ボタン

- \*  パッドにタッチします。

次の選択肢を表示します。

- カップの容量
- 作り方の変更
- 飲料ボタンへの割り当て
- 粉の重さの測定

#### 設定時の飲料ボタンの決定

- \* 希望する飲料供給ボタンを押します。

#### 第二レベルの飲料ボタンの決定

- \* シフトパッドにタッチします。
- \* 希望する飲料供給ボタンを押します。

#### 事前に設定したS,L,またはデカフェ機能とを組み合わせた飲料ボタンの設定

- \* 事前に設定したボタンを先に押します。
- \* 希望する飲料のボタンを押します。

#### 量の変更

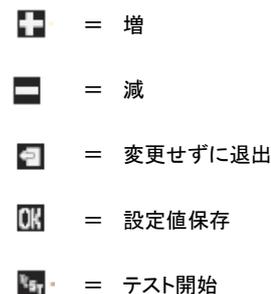
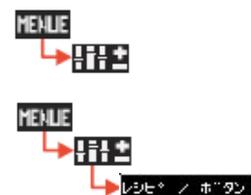
- \* 「+」または「-」パッドで量の調整をします。

#### 現在の設定でテスト抽出

- \*  パッドにタッチします。  
設定値はまだ保存されていません。

#### 設定値の保存

- \*  パッドにタッチして保存します。



## カップの容量

カップの大きさに合わせて供給量を設定します。  
割合や質を変えることなく供給量の変更ができます。

## 作り方の変更

### 全ての飲料

-  コーヒー粉の量/チョコ(粉)の量
-  熱湯の量

### ミルク関連飲料

-  ミルクフォームの量
-  ミルクの量

### コーヒー飲料

-  クオリティ

5段階のコーヒーのクオリティレベルは抽出方法の違いを表します。  
レベルが上がるほどコーヒーの味、香りなどを強めます。

- クオリティ 1** 粉をプレスした後、粉が膨らむ余地を残します。
- クオリティ 2** 粉をプレスした直後から抽出が始まります。
- クオリティ 3** 粉をプレスして、ムランをします。
- クオリティ 4** 粉をプレス、ムランの後で、2回目のプレスをします。
- クオリティ 5** 粉をプレス、ムランの後で、自動的に抽出時間が延びます。

## スチームミルクの設定(オプション)

-  ミルクとミルクフォーム
-  ミルク温度

- \*  パッドにタッチします。
- \* 希望するスチームミルクボタンを押します。
- \* ミルクまたはミルクフォームを選択します。
- \* ミルクフォームの質を調整します。
- \* 遮断温度を設定します。
- \*  にタッチして保存します。

## デカフェ供給の設定(オプション)

デカフェのグラインダーは常に左のグラインダーです。

- \*  パッドにタッチします。
- \* デカフェボタンを押します。

デカフェコーヒーの粉の量は標準のコーヒー粉の量設定に対する割合で決めます。(%)  
この設定は全てのデカフェに適用されます。

- \*  にタッチして保存します。



作り方変更のディスプレイ表示



例:コーヒー粉の量

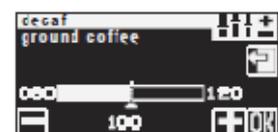


### 質



### 注意

レベルを余り高くしすぎると  
抽出湯エラーが出る恐れがあります。



## 飲料のボタンへの割り当て

各飲料を飲料(供給)ボタンに割り振ります。

- \* 決めたい飲料ボタンを押します。
- \* リストから飲料名(例えばエスプレッソ)を選択します。

## コーヒーのグラインダーの選択

(グラインダー2基のマシン、デカフェは除きます)

- \* 決めたい飲料ボタンを押します。
- \* リストから飲料名(例えばエスプレッソ)を選択します。
- \* グラインダーを選択します。(左または右)

## チョコレート飲料のポーショナーの選択

(ツインチョコ仕様のもの)

- \* 決めたい飲料ボタンを押します。
- \* リストから飲料名(例えばミルクチョコ1)を選択します。
- \* ポーショナーを選択します。(左または右)

## コーヒー粉の計量

- \* カスウケをカラにして戻します。
- \* **コナリヨウ** パッドにタッチします。

粉が直接カスウケに入ります。

粉の重さを測ります。

グラインダーは連続3回作動します。

## ボイラー温度

- \* 希望する温度に設定します。  
(抽出温度の調整)  
(通常は94℃-99℃)

## リセット

コーヒーマシンのソフトウェアを再スタートします。

## 時刻/日付

時刻と日付をここで入力します。

## 使用言語

画面表示する言語をここで設定します。

## ディスプレイのコントラスト

ディスプレイのコントラストを調整します。  
(初期値は70です)

新しい作り方の保存  
新しい作り方は上書きされます。

調整できる飲料だけが表示されます。



チョコ飲料のポーショナーは  
選択できません。



## ホットリンス

コーヒーマシンの加熱終了後、抽出部を熱湯で温めるかどうかを設定します。  
active(有効)に設定をお奨めします。



## その他の操作

前述のものに加えて次の操作ができます。

- ホットリンス パッド(有効/無効)
- バリスタパッド(有効/無効)
- (第2レベルの)シフトパッド(有効/無効)
- オン/オフボタン(直接またはPIN経由)
- メニューパッド(同時または少し遅れて)
- 飲料のキャンセル(yes/no)
- エラー表示(通常/イラスト)

### ホットリンス パッド

セルフサービスのモードのときは「無効」をお奨めします。

### バリスタパッド

セルフサービスのモードのときは「無効」をお奨めします。

### (第2レベルの)シフトパッド

セルフサービスのモードのときは「no」をお奨めします。

### オン/オフボタン

セルフサービスモードのときは「PIN経由」をお奨めします。

「PIN経由」に設定した場合、スイッチオンまたはオフを押す前に洗淨レベルのPINが表示されます。

### メニューパッド

セルフサービスモードのときは「遅れて出る」をお奨めします。

「遅れて出る」に設定してあると、メニューは2回押さないと出ません。

### 飲料のキャンセル(yes/no)

セルフサービスのモードのときは「no」をお奨めします。

### エラー表示(通常/イラスト)

セルフサービスのモードのときは「イラスト」をお奨めします .



セルフサービスの供給にはこれらの機能の一部を「無効」にします。  
無効にした機能はディスプレイ上に表示されません。

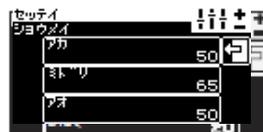
⇒ PINアクセス制限  
24ページ

⇒ アクセスメインメニュー  
16ページ

## 照明

LED照明の色を調整します。

設定の例	赤	緑	青
照明(色)の順序	1	0	0
こはく色	25	30	0
青	0	0	30



### 3.3.5 PIN(暗証番号)入力

PINを設定することで、それぞれの操作に認証された人だけが携われるようになります。  
PINで保護されたレベルに入るには  パッドにタッチした後  
PIN番号を入力します。

- \* メインメニューの  にタッチします。  
ディスプレイに数字入力キーボードが出ます。
  - \* PIN番号(4桁)を入力します。
  - \* 「OK」パッドで確認します。
- PIN番号入力が正しいと操作を続けられます。



PIN認証ディスプレイ

### 3.3.6 PINアクセス制限

操作項目にPIN番号が設定されていると、PIN番号の正しい入力がないと先に進めなくなります。

#### 洗浄レベル

##### PINによるアクセス制限

-  = お客様による手入れ
-  = PINに保護されたオン/オフボタン

スチームミルクのミルクとミルクフォームの設定は会計レベルのPIN入力が必要です。

#### 設定レベル

##### PINによるアクセス制限

-  = 泡立ちミルクの質
-  = タイマープログラム
-  = お客様による手入れ
-  = PINに保護されたオン/オフボタン
-  = 設定(カップ容量のみ)

スチームミルクのミルクとミルクフォームの設定は会計レベルのPIN入力が必要です。



洗浄レベルのアクセス



設定レベルのアクセス

## 会計レベル

### PINによるアクセス制限

-  = 泡立ちミルクの質
-  = タイマープログラム
-  = お客様によるお手入れ
-  = PINに保護されたオン/オフボタン
-  = 各種設定(飲料、総合など)
-  = PIN番号採用可否、番号設定
-  = 種々の会計情報

PINはどのレベルにも設定できます。  
レベルには上下関係があります。

(例) 設定レベルのPIN  は洗浄レベルのPIN  と  
設定レベルのPIN  に有効ですが、会計レベルのPIN  
 には無効です。

- \* メインメニューの  にタッチします。
  - \* レベルを選択します。
- 例: 

ディスプレイに数字入力キーボードが出ます。

- \* 任意の4桁の数字を入力します。
- 入力した数字が表示されます。
- \* 「OK」パッドで確認します。
- このレベルはPINで保護されました。

下位のPINが設定され、上位のPINが未設定のとき、  
下位のPINは上位のPINにも適用されます。

### PINの解除

0000(ゼロが4個)を入力すると、そのレベルのPINの保護が解除されます。  
上位のレベルのPINが解除されると、下位のレベルも解除されます。

### 3.3.7 会計(供給数)

- \*  パッドにタッチします。
- 毎日のカウンターメニューは各飲料の供給数を表示します。

#### カウンターを読む

- \* ディスプレーの見たい飲料にタッチします。

#### カウンターのリセット

- \*  クリアパッドにタッチします。

飲料の選択がされなかったときに  クリアパッドにタッチすると、  
ディスプレイ上に全ての飲料の供給数をゼロにするかの問いかけが  
表示されます。

無関係または許可されていない人がアクセスできないように  
PIN番号で保護することをお奨めします、



会計レベルのアクセス

例

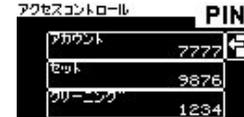


洗浄レベルのPIN 1234  
洗浄レベルのPINを上級レベルの  
PINに適用されます。



PIN入力の表示

例



洗浄レベルのPINは1234  
設定レベルのPINは9876  
会計レベルのPINは7777



## 第4章 お客様によるお手入れ

コーヒーの品質を保つため、またコーヒーマシンを常に良い状態にしておくために定期的な洗浄作業は欠かせません。

何日間かコーヒーマシンをご使用にならないときは、全ての項目の洗浄をしてください。

### 洗浄の間隔の概要

お客様による点検と手入れ

毎日	毎週	定期的	表示	特別	
X				○	ミルクフォーマーの rinse
X					洗浄プログラム
X				○	ミルクフォーマーの洗浄
X				○	ミキサーの rinse
X					コンビ供給口洗浄(標準)
	X			○	コンビ供給口洗浄(プラグアンドクリーン)
X					カスウケ洗浄
X					ドリフトレー洗浄
X					ハウジング洗浄
	X				抽出部洗浄
(X)	X			○	ミキサー洗浄
(X)	X			○	熱湯ノズル洗浄
X	X			○	スチームミルク洗浄
		X			コーヒー豆ホッパー清掃
		X		○	チョコホッパー清掃

- 毎日 = 一日1回または必要時  
 毎週 = 週に1回  
 定期的 = 状況によって定期的に  
 表示 = ディスプレーのその旨の表示があったとき  
 特別 = オプションの付属品(モデルによって異なります)  
 (X) = 状況によって一日1回



注意  
人体に悪影響

## 4.1 毎日のお手入れ

### 全ての洗浄マニュアルについて

洗浄はマニュアルに従って順序よく行ってください。

#### 4.1.1 洗浄プログラム

洗浄プログラムはソフトウェアによってミルクフォーマー洗浄、ミキサー洗浄、マシン洗浄の順で行なわれます。



供給口付近から  
熱い液体が出ます

「安全のために」の章参照！

洗浄プログラム⇒「毎日の洗浄の手順」

#### 4.1.2 ミルクシステムの洗浄

ミルクフォーマーの洗浄については洗浄早見表を参照ください。  
ミルク管路の構成は次の通りです。

- コンビ供給口
- ミルクノズル
- ミルクホース

ミルク管路は最低でも一日に1回の洗浄と消毒(24時間以内)が必要です。  
プラグアンドクリーン付きのマシンでは、一日の業務終了時に必ず洗浄してください。  
プラグアンドクリーン洗浄がされないと、コンビ供給口を分解して  
マニュアルで洗浄することになります。

ミルクホースは定期的に交換してください。



供給口付近から  
熱い液体が出ます

「安全のために」の章参照！



衛生に関する説明を  
お読みください

コンビ供給口洗浄  
⇒30ページ

#### ミルクフォーマーの洗浄(標準)

コンビ供給口の洗浄は次の2種、オプション付きのものは3種の  
作業からなります。

- ミルク関連飲料を供給した後のミルクフォーマーの自動リンス
- ディスプレーのガイドによるミルク管路のリンス
- コンビ供給口、ミルクホース、ミルクノズルを毎日洗剤溶液に浸ける。

#### ミルクフォーマーの洗浄(プラグアンドクリーン)

プラグアンドクリーンの洗浄は、次の3種の作業からなります。

- ミルク関連飲料を供給した後、3分以内のミルクフォーマーの自動リンス
- ディスプレーのガイドによるミルク管路のリンス
- コンビ供給口、ミルクホース、ミルクノズルを毎週洗剤溶液に浸ける。

#### 4.1.3 ミキサーのリンス

ミキサーのリンスはミキサー洗浄までの中間作業です。  
ミキサーのリンスは洗浄プログラムに組み込まれています。

#### 4.1.4 コンビ供給口の洗浄

ミルク管路の全ての洗浄。 マニュアルによる洗浄方法は  
洗浄早見表に記述してあります。



プラグアンドクリーン洗浄プログラム  
⇒32ページ



ミキサーのリンス  
⇒30ページ



コンビ供給口の洗浄  
⇒30ページ

#### 4.1.5 その他の清掃

##### カスウケ(カス シューターオプション)の清掃

- \* カスウケをカラにし、流水の下で洗います。
- \* 湿った布巾でぬぐいます。

##### ドリフトレー、本体表面、フロントパネルの清掃

- \* マシンが冷えている状態で、湿った布巾でぬぐいます。
- \* 柔らかな乾いた布で拭きます。

磨き粉分を含んだ洗剤は表面に傷をつける恐れがありますので、使用しないでください。

スチールウールなどが入った用具は使わないでください。

フロントパネルの清掃時には、誤って飲料が供給されないようにスイッチを切ってください。



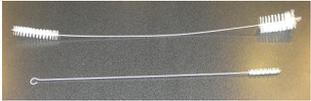
注意  
マシン損傷の恐れ  
説明書に従ってください

## 「毎日の洗浄」の手順

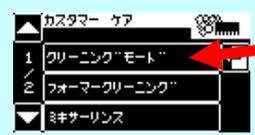
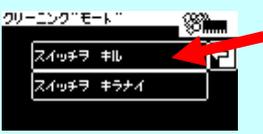
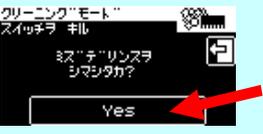
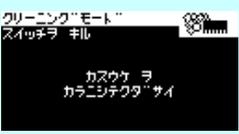
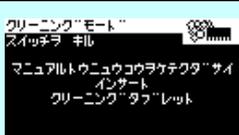
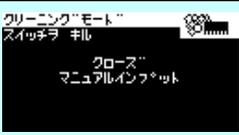
初めて洗浄を行う前に、使用説明書の「第4章 お客様によるお手入れ」の項を読んでください。

### 標準仕様のクリーニング

#### クリーニングに必要なもの

 <p>WMFコーヒーマシン ミルクフォーム洗 浄用洗剤</p>	 <p>WMFコーヒーマシン 洗浄用錠剤</p>	 <p>ワイヤーブラシ大小</p>	 <p>500cc以上の容器</p>
---	---	--	--

\* これらの洗剤を使用する際は、容器本体に記載されている注意事項をよく読んでください。

<p>1</p>  <p>MENUEをタッチする。</p>	<p>2</p>  <p>クリーニングキーをタッチする。</p>	<p>3</p>  <p>クリーニングモードをタッチする。</p>
<p>4</p>  <p>スイッチヲ キルをタッチする。 ※洗浄プログラムがスタートします。</p>	<p>5</p>  <p>スタート(Start)をタッチする。</p>	<p>6</p>  <p>1) 水道水500ccを入れた容器を準備 容器にミルクホースを入れる。</p>
<p>7</p>  <p>イエス(Yes)をタッチする。</p>	<p>8</p>  <p>浸け置き洗浄について表示さ れます。OKをタッチ。</p>	<p>9</p>  <p>カスウケを引き出して空にする。</p>
<p>10</p>  <p>マニュアル投入口を開けて洗剤を 一錠いれる。</p>	<p>10-1</p>  <p>※ 必ず専用洗剤を使用します。</p>	<p>11</p>  <p>マニュアル投入口を閉じます。</p>

12

クリーニング"モード"  
スイッチヲ 押し

センサ"イテ  
トウニユウシマシタカ?

Yes

イエス(Yes)をタッチする。

13

クリーニング"モード"  
スイッチヲ 押し

スタート シテクワ"サイ

0 130

ミルクシステムのリンスを開始します。約30秒掛かります。

14

クリーニング"モード"  
ミキサー"リンス

スタート シテクワ"サイ

0 128

ミキサーのリンスを開始します。約30秒掛かります。

14-1

※ 熱い湯が出ます。

15

クリーニング"モード"  
スイッチヲ 押し

スタート シテクワ"サイ

0 362

コーヒーシステムのクリーニングを開始します。約7分掛かります。

15-1

※ 熱湯がアウトレットから出ます。

### ミルクフォーマーの浸け置き洗浄

ミルクフォーマーはミルクの固着を防ぐために毎日、浸け置き洗浄を行ってください。予備のフォーマーと交互に使用してください。

16

コンビ供給口の後ろのレバーを手前に押す。

17

ミルクフォーマーを取り外す。

18

ミルクフォーマー用

ココア用

チューブを外しミルクフォーマーを分離する。

19

- 1) WMFコーヒーマシンミルクフォーマー洗浄用洗剤のキャップを開ける。
- 2) 容器に5ccの洗剤と500ccの水をいれ攪拌する。

20

- 1) 容器に分離したミルクフォーマーとミルクチューブ、ミルクノズルを完全に浸します。
- 2) この状態で5時間以上浸け置きをします。

\* WMFコーヒーマシンミルクフォーマー洗浄用洗剤をご使用の際は、必ずゴム手袋をつけてください。洗剤が手に触れた場合は、洗剤のぬめりが取れるまで十分に洗い流してください。

21

ブラシを使用して水でよく洗い流してください。

## ミキサーシステムの洗浄

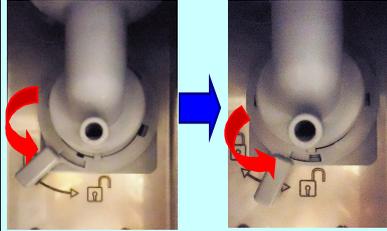
ミキサーシステムはパウダーの固着を防ぐために毎日、流水洗浄を行ってください。

22



左側のカバーを開けます。

23



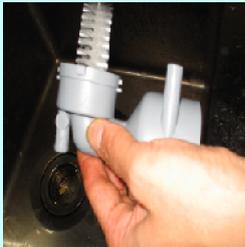
ミキサーからチューブを抜きミキサー下部のつまみを、反時計方向に回し取り外します。

24



ミキサーをマシン本体から前に引っ張って外し、上下に分解します。

25



1) ブラシを使って流水で洗浄します。

26



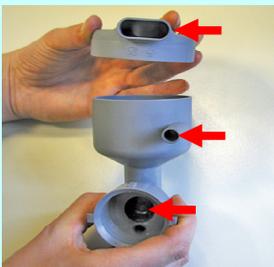
1) チューブもブラシを使って流水で洗浄します。

27



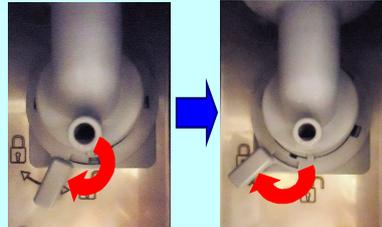
1) ウエスの上に置き、乾燥させます。

28



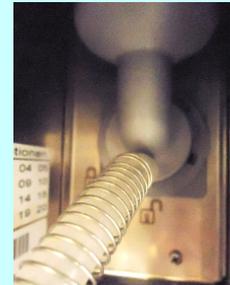
1) ミキサーを組み立て直します。  
※ 各部分の開口部が同じ方向を向いているようにしてください。

29



1) ミキサーをマシン本体に戻し、しっかり固定されているか確認します。  
2) 下部のつまみを時計方向に回します。

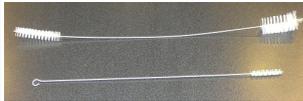
30



1) チューブをミキサーに取り付けます。

# プラグ アンド クリーン仕様のクリーニング

## クリーニングに必要なもの

 <p>WMFコーヒーマシン ミルクフォーマー洗 浄用洗剤</p>	 <p>WMFコーヒーマシン 洗浄用錠剤</p>	 <p>ワイヤーブラシ大小</p>
--	---	--

\* これらの洗剤を使用する際は、容器本体に記載されている注意事項をよく読んでください。

1



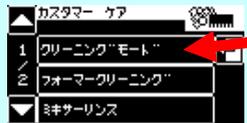
MENUEをタッチする。

2



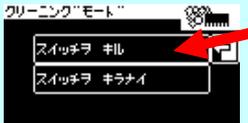
クリーニングキーをタッチする。

3



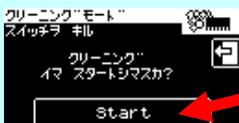
クリーニングモードをタッチする。

4



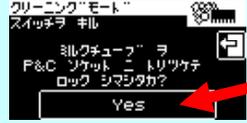
スイッチャ キルをタッチする。  
※洗浄プログラムがスタートします。

5



スタート(Start)をタッチする。

6



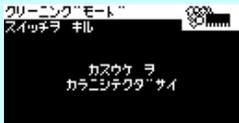
プラグ & クリーンアダプタのソケット  
にミルクホースを取り付けます。  
※ミルクホースを曲げないでください。

6-1



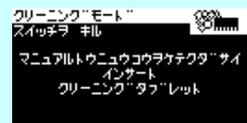
アダプタを時計回りに止まるまで  
回します。(Yes)をタッチする。

7



カスウケを引き出して空にする。

8



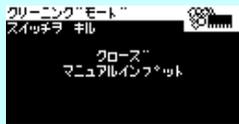
マニュアル投入口を開けて洗剤を  
一錠いれる。

8-1



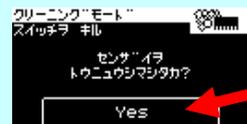
※ 必ず専用洗剤を使用します。

9



マニュアル投入口を閉じます。

10



イエス(Yes)をタッチする。

**11**

クリーニングモード”  
ミキサーリンス

スタート シテクワ”サイ  
0 128

ミキサーのリンスを開始します。  
約30秒掛かります。

**11-1**

※ 熱い湯が出ます。

**12**

クリーニングモード”  
スイッチ” 押し

プラグの”& クリーン  
スタート シテクワ”サイ  
0 120

プラグアンドクリーンの洗浄を開始  
します。約120秒掛かります。

**12-1**

※ 熱湯がアウトレットから出ます。

**13**

クリーニングモード”  
スイッチ” 押し

スタート シテクワ”サイ  
0 362

コーヒーシステムのクリーニング  
を開始します。約7分掛かります。

**13-1**

※ 熱湯がアウトレットから出ます。

### ミルクフォーマーの浸け置き洗浄

ミルクフォーマーはミルクの固着を防ぐために毎日、浸け置き洗浄を行ってください。  
予備のフォーマーと交互に使用してください。

**14**

コンビ供給口の後ろのレバーを手前  
に押す。

**15**

ミルクフォーマーを取り外す。

**16**

ミルク  
フォーム用

ココア用

チューブを外しミルクフォーマーを  
分離する。

**17**

- 1) WMFコーヒーマシンミルクフォー  
マー洗浄用洗剤のキャップを開け  
る。
- 2) 容器に5ccの洗剤と500ccの水を  
いれ攪拌する。

**18**

- 1) 容器に分離したミルクフォーマーと  
ミルクチューブ、ミルクノズルを完全  
に浸します。
- 2) この状態で5時間以上浸け置きを  
します。

\* WMFコーヒーマシンミルク  
フォーマー洗浄用洗剤を  
ご使用の際は、必ずゴム  
手袋をつけてください。洗  
剤が手に触れた場合は、  
洗剤のぬめりが取れるま  
で十分に洗い流してくださ  
い。

**19**

ブラシを使用して水でよく洗い流してください。

## ミキサーシステムの洗浄

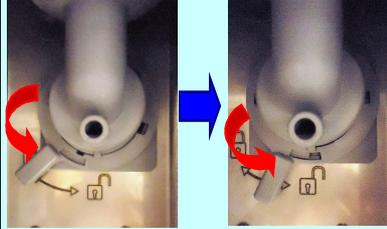
ミキサーシステムはパウダーの固着を防ぐために毎日、流水洗浄を行ってください。

20



左側のカバーを開けます。

21



ミキサーからチューブを抜きミキサー下部のつまみを、反時計方向に回し取り外します。

22



ミキサーをマシン本体から前に引っ張って外し、上下に分解します。

23



ブラシを使って流水で洗浄します。

24



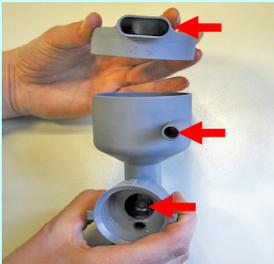
チューブもブラシを使って流水で洗浄します。

25



ウエスの上に置き、乾燥させます。

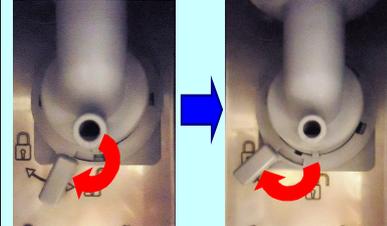
26



ミキサーを組み立て直します。

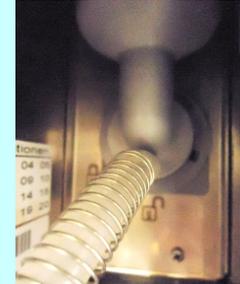
※ 各部分の開口部が同じ方向を向いているようにしてください。

27



- 1) ミキサーをマシン本体に戻し、しっかり固定されているか確認します。
- 2) 下部のつまみを時計方向に回します。

28



チューブをミキサーに取り付けます。

## 4.2 毎週の洗浄

### 4.2.1 抽出部の清掃

- \* オン・オフ ボタンでマシンのスイッチを切ります。
- \* 主電源スイッチを切るか、プラグを抜きます。
- \* コンビ供給口を押し上げます。
- \* フロントパネルを上を持ち上げます。
- \* カスウケをマシン前方へ移動して取り出します。

抽出部に手が届くようになりました

#### ヤケドの危険

抽出部が冷えるまで作業に入らないでください。

滑り落とさないように、しっかりと持ってください。

**破損する恐れがありますので、力を加え過ぎないでください。**

- \* 抽出部の下のシューター部分に手を入れ、キャッチを外します。(図1)
- \* 抽出部をしっかりとつかんで取り出します。(図2)
- \* ゆっくりと抽出部を下へずらし、傾けながら引き出します。

アクセサリーのマルチツールを使います。

- \* 抽出部頂点のネジを反時計回りにワイパーが前方に来るまで回します。(図3)
- \* スプリングを外側に押し上げてロックを外します。(図4)
- \* シューターを上へ振ります。
- \* 抽出フィルターを流水で洗うか、布巾で拭きます。
- \* ハケなどを使って、残っているコーヒークスを掃き出します。
- \* 抽出部を流水で洗います。

抽出部は絶対に皿洗い機で洗浄しないでください。

また、洗剤は使わないでください。

- \* 抽出部を乾いた布巾で拭きます。
- 完全に乾いてからマシンに取り付けてください。

シューターの中のコーヒークスを掃除します。

- \* ハケで掃き出すか、掃除機で吸い取ります。

抽出部が乾いたらマシンに戻します。

- \* スプリングを元に戻します。(図4)
- \* プッシャーがプレスしている状態にして、マシン後壁に向かって抽出部を戻します。
- \* 抽出部を持ち上げるようにしてロックがかかりますようにします。
- \* カスウケを元にもどします。
- \* フロントパネルを持ち上げます。



ケガの恐れ

「安全のために」の章参照！



注意！

熱い表面

説明書に従ってください



注意

マシン損傷の恐れ

説明書に従ってください



(図1)



(図2)



注意

マシン損傷の恐れ

説明書に従ってください



(図3)



(図4)

もし抽出部がスムーズに入らないようでしたら、マルチツールを使って抽出部上部のネジを左または右に回してガイドに入るように調整してください。過度な力は絶対に加えないでください。



注意  
マシン損傷の恐れ  
説明書に従ってください



抽出フィルター(シーブ)

#### 4.2.2 チョコミキサーの洗浄

##### チョコミキサー

ミキサー洗浄は使用頻度により回数を変えてください。

- \* オン・オフ ボタンでマシンの電源を切ります。
- \* 主電源を切るか、プラグを抜きます。
- \* ミルクカバーを開きます。
- \* ミキサーからコンビ供給口へのホースを引き抜きます。
- \* ミキサーボウル下のパヨネットのスタッドを反時計回りに回します。ミキサーボウルが外れます。



開く

- \* ミキサーのプロペラを布で清掃します。
- \* ミキサーボウルを分解します。(2個でユニットになっています)
- \* 分解した部品とホースを温かい流水で洗います。
- \* 洗った部品を完全に乾かします。
- \* 分解した部品を組み立てます。

組み立ての際に全ての口が同じ方向になるようにしてください。

- \* ミキサーボウルを元に戻します。
- \* スタッドを時計回りに回して戻します。
- \* ホースをミキサーボウルとコンビ供給口に戻します。
- \* カバーを元に戻します。

ホースがしっかりと取り付けられていることを確認してください。しっかりと取り付けしていないと、熱湯が噴き出す恐れがあります。



螺旋状のガイドが入っていてホースがつぶれないようにしてください。



注意  
ヤケドの恐れ  
「安全のために」の章参照！

## 4.3 定期的な清掃

### 4.3.1 コーヒー豆ホッパーの清掃

コーヒー豆ホッパーの清掃は必要に応じて、また最低月に1回は行なってください。

- \* オン・オフ ボタンでマシンの電源を切ります。
- \* 主電源を切るか、プラグを抜きます。
- \* マルチツールを使って時計回りに回して、ホッパーのロックを外します。
- \* ホッパーを持ち上げます。
- \* 豆を全て出して、湿った布巾などでぬぐいます。
- \* ホッパーを完全に乾かします。
- \* コーヒー豆を入れ、ホッパーを元に戻します。
- \* マルチツールで反時計回りに回して、ホッパーをロックします。



開く



閉じる



グラインダーの中には絶対に手などを入れないでください。  
ホッパーの洗浄には絶対に皿洗い機などを使わないでください。



注意  
ケガの恐れ

「安全のために」の章参照！

### 4.3.2 チョコホッパーの清掃(オプション)

使用頻度により適宜洗浄を行なってください。

- \* オン・オフ ボタンでマシンの電源を切ります。
  - \* 主電源を切るか、プラグを抜きます。
  - \* マルチツールを使って反時計回りに回して、ホッパーのロックを外します。
  - \* ホッパーを持ち上げて出し、完全にカラにします。
  - \* 前後にあるユニオンナットを外します。
  - \* 粉供給用のオーガーを外します。
- 
- \* 湿った布巾などでぬぐいます。
  - \* 供給用オーガーの部品全てをきれいに洗浄します。
  - \* ホッパー及びオーガー類を完全に乾かします。
  - \* 外した部品を元に戻します。 ユニオンナットを締めます。



開く



閉じる



粉供給用オーガーの部品

供給が正しくされることを確認してください。

- \* ホッパーに粉を入れ、元に戻します。
- \* マルチツールを使って時計回りに回してホッパーを固定します。



## ツインチョコホッパーの特徴

ツインチョコホッパーは中央で二分割されていて、2種類のチョコを供給できます。

ホッパーは絶対に皿洗い機で洗わないでください。



分解されたオーガー



マシン損傷の恐れ

説明書に従ってください

## 4.4 スチームミルク供給口の清掃

### 毎日の清掃

- \* 背の高い容器に5ccの洗剤を入れ、500ccのぬるま湯で溶かします。
  - \* スチームノズルを溶液に入れ、短時間スチームを出して、そのまま置いておきます。30分ほどかかります。
  - \* ブラシできれいに洗浄します。
  - \* 水できれいにリンスします。
  - \* スチームミルクボタンを押します。
- スチームが中に残っていたミルク、洗剤を吹き飛ばします。



### 毎週の清掃

- \* スチームノズルを外します。
- \* ノズルを洗剤溶液に少なくとも5時間置きます。
- \* 洗浄用ブラシで清掃します。
- \* 清水できれいにリンスします。
- \* スチームノズルを取り付けます。
- \* 清水を入れた容器にノズルを入れます。
- \* スチームミルクボタンを短く押します。
- \* 湿った布巾でノズルを拭きます。



注意

健康を害する恐れ

供給口付近はヤケドと刺激の恐れがあります



注意

熱いスチーム

「安全のために」の章参照！

## 第5章 保守点検

業務用のコーヒーマシンは、定期的な保守点検とカルキ除去が必要です。カルキ除去の時期は、使用地域の水の硬度、フィルターの有無を勘案してマシンが計算します。

保守点検のスケジュール計算は基本的に使用頻度によってされ、その時期はディスプレイに表示されます。定期点検必要時期が表示された後もコーヒーの供給はできますが、マシンを安全、効果的にお使いいただく上で、できるだけ速やかに保守点検を実施されるようお願いいたします。

### 5.1 コーヒーマシンの保守

保守点検の内容は次のようになります。

- 保守点検(メンテナンス)の表示後:  
訓練を受けた技術者またはWMFサービス員のみにお任せください。  
このときに安全に関する部品の交換をします。
- 分解点検の表示後:  
訓練を受けた技術者またはWMFサービス員のみにお任せください。  
このときに安全に関する部品の交換をします。

保守点検の表示:  
⇒画面表示とヒント(40ページ)



その他の保守点検作業、修理に  
関してはWMFサービスにお問い合わせ  
ください。

### 5.2 WMFのサービス

ご用の節は、下記WMFジャパン サービスセンターへお問い合わせください。

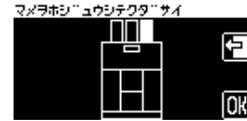
■ 本社・東京支店	〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-5 御成門郵船ビル10階 TEL: 03-5408-3303 FAX: 03-5403-3311
■ 大阪支店	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2-4-11 TEL: 06-6267-2280 FAX: 06-6267-2277
■ 名古屋支店	〒453-0856 愛知県名古屋市中村区並木1-299 TEL: 052-419-5811 FAX: 052-419-5812
■ 福岡支店	〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町1-18 東カン福岡第二ビル TEL: 092-483-1300 FAX: 092-483-1220
■ 東北 S C	〒981-0135 宮城県宮城郡利府町菅谷台4-2-11 TEL: 022-767-1855 FAX: 022-767-1896

## 第6章 画面表示とヒント

### 6.1 操作に関する表示

#### コーヒー豆の補充

- \* コーヒー豆を補充します。(ディスプレイ表示)
- \* チェック
- ホッパーのロックは開いていますか?
- ⇒ 手入れ
- コーヒー豆が落ちてこない
- \* 大き目のスプーンなどでホッパー内をかき回して  で確認してください。



#### 給水栓を開けてください。

- \* 給水栓を開けて確認します。



#### カスウケをカラにしてください。

- \* カスウケをカラにします。



#### カスウケがありません。

- \* カスウケを正しく入れます。



#### 抽出不具合

- \* 抽出部を取り出します。
- \* 抽出フィルター(シーブ)をきれいにします。
- \* 抽出部を正しく固定されるように戻します。



#### フィルター交換

- \* 表示が出てから1週間以内にフィルターを交換し、「手入れ」メニューで確認します。  
カルキ除去フィルターの説明書に従ってください。



#### 取扱説明書をお読みください。

ディスプレイにエラー番号が表示されています。  
⇒エラー表示／不具合



#### カルキ除去表示

- \* WMFサービスにご連絡ください。



#### お客様による点検の表示

- \* 表示後一週間以内に「点検」をして、「手入れ」メニューで確認してください。



#### 保守点検サービスの表示

ディスプレイ表示後にWMFの保守点検をお受けください。

- \* WMFサービスにご連絡ください。



#### 分解点検サービスの表示

- \* WMFサービスにご連絡ください。



## 6.2 エラー表示と作動不具合

エラー表示または作動不具合が出たときの基本的な対応

- \* マシンのスイッチを切り、数秒後に再びスイッチを入れます。
- \* エラー表示になった操作をもう一度繰り返してみてください。

殆どの場合この対応でマシンは復帰し、使用を続けることができます。  
これで復帰しなかったときには、エラーリストを参照いただき、対応してください。

それでも復帰せず、またはリストに載っていないエラー番号表示のときは、  
WMFサービスにご連絡ください。

エラーの中にはマシンの作動を停止するものもあります。  
この場合、飲料供給ボタンの照明が消えます。飲料供給ボタンの照明があるときは  
供給ができます。

WMF2000Sには自己診断機能が付いています。  
マシンに起きた不具合(エラー)はディスプレイ表示されます。主電源が突然遮断  
されたときのエラーもリストにあります。

電源エラーや操作者へのレポートの場合

 のパッドが表示されます。

- \*  にタッチします。  
エラー番号が表示されます。

エラー番号	エラーの内容	対応方法
6	抽出部 過電流で停止 抽出部作動負荷大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>* コーヒーマシンのスイッチを切ります</li> <li>* 抽出部の洗浄</li> </ul> ⇒お客様によるお手入れ⇒抽出部洗浄
26 36	右グラインダー停止  左グラインダー停止  	<ul style="list-style-type: none"> <li>* コーヒーマシンのスイッチを切ります</li> <li>* 主電源を切ります(プラグを外す)</li> <li>* コーヒー豆ホッパーを外します</li> <li>* マルチツールでグラインダーディスクを反時計回りに回します(図参照)</li> <li>* ホッパーを元に戻します</li> <li>* コーヒーマシンのスイッチを入れます</li> </ul> ⇒手入れ⇒ホッパーの清掃  度々起こるようであれば: <ul style="list-style-type: none"> <li>* WMFサービスにご連絡ください。</li> </ul>
88	ボイラー 過熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>* スwitchを切り、マシンを冷やして再びスイッチを入れてみます</li> </ul> それでも復帰しないとき <ul style="list-style-type: none"> <li>* コーヒーマシンのスイッチを切ります</li> <li>* WMFサービスにご連絡ください。</li> </ul>
89	ボイラー 加熱時間エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 一旦スイッチを切り、再び入れてみます</li> </ul>

エラー番号	エラーの内容	対応方法
161	抽出湯エラー	<p>対応を取ってみる毎にスイッチのオンとオフを試してみてください。 復帰しなければ、次の対応に移ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 給水栓が開いているか、確認します。</li> <li>* 抽出部の洗浄をします ⇒お客様によるお手入れ⇒抽出部洗浄</li> <li>* 粉の挽き具合(メッシュ)を粗くします ⇒その他の設定</li> <li>* コーヒーの濃さを薄くします ⇒設定⇒飲料の内容</li> </ul>
163	ホットリンス注湯エラー	<p>対応を取ってみる毎にスイッチのオンとオフを試してみてください。 復帰しなければ、次の対応に移ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 給水栓が開いているか、確認します。</li> <li>* 抽出部の洗浄をします ⇒手入れ⇒抽出部洗浄</li> </ul>
186	スチームボイラー水位不良	<p>飲料供給は止まります</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* カスウケが所定の位置にあるかどうか確認します</li> <li>* スwitchを切り、再びスイッチを入れてみます</li> </ul>
188	スチームボイラー過熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>* スwitchを切り、マシンを冷やして再びスイッチを入れてみます</li> </ul> <p>それでも復帰しないとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* コーヒーマシンのスイッチを切ります</li> <li>* WMFサービスにご連絡ください。</li> </ul>
189	スチームボイラー加熱時間エラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 一旦スイッチを切り、再び入れてみます</li> </ul>

### 6.3 エラー表示の出ない作動不具合

不具合状況	対応方法						
熱湯が出ない、カスウケに水がたまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 熱湯ノズルを洗浄します</li> <li>* WMFサービスへご連絡ください(コーヒーの供給は可能です)</li> </ul>						
チョコの供給ができない、カスウケに水がたまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>* チョコの供給をやめます</li> <li>* WMFサービスへご連絡ください(コーヒーの供給は可能です)</li> </ul>						
チョコのポーションナー詰まり お湯だけが出てくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ポーションナーの清掃をします ⇒お客様による毎日のお手入れ</li> <li>* ポーションナーをカラにします</li> <li>* 粉送り用のオーガーを手で回して粉を全て出します</li> <li>* 必要であれば、水洗いします。</li> <li>* 完全に乾かしてください</li> </ul>						
コーヒーの出方が左右で違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>* コンビ供給口を洗浄してください ⇒「毎日の洗浄」の手順</li> </ul>						
パックにミルクはあるのにミルクも ミルクフォームも出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ミルクホースが折れ曲がっていないか確認します</li> <li>* チューブの配置を正しくします</li> <li>* コンビ供給口を洗浄してください</li> <li>* ミルクノズルが詰まっています ⇒「毎日の洗浄」の手順</li> <li>* クーラー内のミルクが凍っています。</li> </ul>						
ミルクのアワダチが良くない 温度がぬるい(または熱すぎる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ミルクノズルを交換します コンビ供給口のノズルを適したものに交換します。</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>ミルクノズル</td> <td>3. 9KW</td> </tr> <tr> <td>● 冷蔵したミルク</td> <td>茶</td> </tr> <tr> <td>● 室温のミルク</td> <td>無色</td> </tr> </table> <p>消費電力はマシンの仕様書を参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* コンビ供給口を洗浄してください ⇒「毎日の洗浄」の手順</li> </ul> <p>不具合が解消されないときは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 他のノズルに換えてみてください。</li> </ul>	ミルクノズル	3. 9KW	● 冷蔵したミルク	茶	● 室温のミルク	無色
ミルクノズル	3. 9KW						
● 冷蔵したミルク	茶						
● 室温のミルク	無色						

不具合状況	対応方法
ポンプが連続して作動している カスウケに水がたまる	<ul style="list-style-type: none"> <li>* スイッチを切り、再びスイッチを入れてみます</li> <li>* 復帰しないときは、WMFサービスへご連絡ください</li> </ul>
ミルクフォーマーの分解・組み立てが硬い	<ul style="list-style-type: none"> <li>* O-リングに食品に使用可能なグリスを軽く塗ってください</li> </ul>
チョコホッパーが入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ポーションの粉送りオーガーを時計回りに手で回してください</li> <li>* チョコホッパーがロックされていないかどうかチェックしてください。</li> </ul>
コーヒー豆ホッパーが入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>* コーヒー豆ホッパーがロックされていないかどうかチェックしてください。</li> </ul>

## 第7章 安全のために

### 7.1 人体への悪影響

WMFでは「安全」を第一義と考えてマシンを提供しております。しかしながらマシンを安全にご使用いただくためには、下記の点につきましてご留意いただきたくお願い申し上げます。

- マシンをご使用になる前に、必ず取扱説明書を注意深くお読みください。
- マシンの熱い部分に絶対に触れないでください。
- 作動不良であったり、故障しているマシンは絶対に使用しないでください。
- 安全に係わるマシンの部品等を改造しないでください。
- マシンは下記の方々を使用されることを想定しておりません。  
子供、精神または身体的に障害をお持ちの方、マシンについての知識、使用経験のない方。しかしながら、これらの方々を十分に使用経験と知識をお持ちの方の指導の下にマシン操作をされる場合は、この限りではありません。
- 子供たちがマシンを遊びの道具にすることは、絶対に避けてください。

#### ヤケドの危険

コーヒー、熱湯、スチームの供給中はヤケドの危険があります。これらの飲料の供給中には必ず容器を下に置いてください。

#### ヤケドの危険

抽出部の洗浄は、必ずマシンが冷えてから行なってください。  
抽出部が非常に熱いことがあります。

#### 機械的なケガの危険

マシンの動く部分は常にケガをする危険があります。  
コーヒーマシンのスイッチが入っている状態のとき、絶対にコーヒー豆ホッパーの中や、抽出部の開口部に手などを入れないでください。

#### 健康に悪影響

コーヒー豆ホッパー、チョコホッパーやマニュアル投入口には認められているもの以外は入れないでください。

#### 健康に悪影響

ミルクフォーマー用洗剤、洗浄用錠剤を使用する前に、包装に記載された注意書を良くお読みください。  
ミルクフォーマー用洗剤、洗浄用錠剤は刺激物です。  
錠剤の投入は、ディスプレイに指示が出てから入れてください。

#### 刺激及びヤケドの危険

洗浄中は供給口の下に絶対に手などを入れないでください。  
洗浄またはカルキ除去中に供給口から洗浄液／カルキ除去材が排出されます。



危険についての注意を無視すると、重大なケガにつながります。

安全のための指示に従ってください



供給口付近  
熱い液体

ヤケドの危険



注意  
熱いスチーム

ヤケドの危険



注意  
熱い表面

ヤケドの危険



注意  
ケガの危険

ケガをする危険



注意  
健康に悪影響

認められたものだけ使用



注意  
健康に悪影響

洗剤の使用説明書に従ってください



注意  
健康に悪影響

刺激とヤケドの危険が供給口付近にあります

## 7.2 マシンへの悪影響

コーヒーマシンの損傷と不具合発生を防ぐために以下のことに  
ご注意ください。

- カルキの堆積を防ぐために硬度5度dGH以上の水を使用する  
施設では必ずWMF推奨のカルキ除去フィルターを取り付けてください。
- 安全のために営業終了時には必ず給水栓を締め、主電源を切るか、  
マシンの電源プラグを抜いてください。
- 損傷防止のために以下のお薦めをいたします。
  - ー 給水ラインに水質モニターの取り付け
  - ー 煙探知機の取り付け
- (お盆など)長期にわたってのお休みの後マシンを使用する際、  
マシン洗浄を少なくとも2回行なってからご使用ください。



⇒「お客様によるお手入れ」  
の章を参照

## 7.3 規制及び指針

当社のコーヒーマシンは電気製品(プラスチック製品)ヨーロッパの指針に準拠しており、  
現在のECの規準(1935/2004)をクリアしております。

適切な使用範囲であれば、マシンが危険な状態になることはありません。

マシンに使用されている部品類に付きましては、製品及びプラスチック製品の指針  
2002/72/EF ff に準拠しております。

マシンは要求される以下の指針に全て沿っております。

MD(MR)2006/42/EC(EG), EMCD(EVM)2004/108/EC(EG), 指針2002/95/EC(ROHS),  
指針2002/96/EC(WEEE)

規準準拠の告知はマシンに付属しております。

マシンはCE認可のラベルがあります。

WMFが認める以外の改造がありますと、この告知は無効になります。

EU域外の国での規準、規制に関しましては、当該国の規準に準拠するものとします。

この機械は電気電子機械としての指針(WEEE/EU)によって

家庭(通常)廃棄物として廃棄することはできません。



廃棄については  
WMFサービスにご連絡を

## 7.4 所有者の方、操作する方の責任

マシンの所有者、操作者の方にはWMF認定のサービス員による定期的な  
保守点検作業と安全に関する部分の点検をお受けください。

保守点検、修理作業は安全面と衛生面からWMF認定の知識と経験のある  
サービス員だけがあたるようにしてください。

コーヒーマシンの点検、手入れを操作者の方が障害なくできるような  
環境にしてください。

セルフサービスでマシンをご使用になる場合は、知識をお持ちの操作者の方だけが  
基本的に調整等をするようにしてください。

点検、手入れ、使用法の説明も知識のある方だけが携わるようにしてください。

マシンをご使用になる施設の電気設備が使用地域の規制を準拠  
していることをご確認ください。

コーヒーマシンを安全にお使いいただくためには、セーフティバルブ、  
圧力容器(ポイラー)などの定期的な点検作業は、その他の定期点検と  
ともに欠かすことはできません。

安全な運転を確保するために、WMFサービスの保守点検作業を  
お受けください。

マシンの洗浄は必ずWMF専用の洗剤をご使用ください。(錠剤)

ミルクシステムにはミルクフォーマー用専用洗剤。

製造会社が定めた定期的な点検(⇒保守点検)に必ず従ってください。

## 7.5 保証について

WMFコーヒーマシンの品質保証期間は納品日から12ヶ月間です。  
WMFでは常にマシンの品質向上に努めております。  
前述期間外での不具合に関する保障請求は、重大な構造的欠陥によるものの他はお受けできません。

保証期間は12ヶ月

### 保証除外について

- 経時的、疲労的に使用不可になった部品。 シール、ミキサー、抽出部も含まれます。
- 天変地異、カルキ堆積、化学的、電氣的障害によるもので、WMFの責任に属さない不具合。
- カルキ除去フィルター使用が不可欠な水質にもかかわらずフィルターを使用しないで不具合に至った場合。
- 取扱説明書や使用地域での規制に従わずに、お客様の誤った点検、手入れの結果として生じた不具合。
- WMFが認めた以外の部品使用による修理、WMFが認めた以外の第三者による修理作業または無視の結果として生じた不具合。
  
- WMFが認めた以外の第三者によるマシン改造の結果生じた不具合。
- 取扱説明書に記述された以外の使い方をした結果の不具合。



取扱説明書に  
従ってください

マシンご注文にあたってカルキ除去  
フィルターの取り付けについて  
お伺いいたします。



保守・点検の章を参照ください  
39ページ

## 付録：技術データ

### マシンの仕様

消費電力	3.9KW
一日の推奨供給量 エスプレッソ、カフェクレーム	最大200杯
熱湯供給量	約24L/時
コーヒー豆ホッパー	左右各々約1,000g 中央約550g
チョコホッパー	約1,000g
ツインチョコホッパー	各々約500g
電源電圧	AC200V
照明	LEDクラス1
マシン外形寸法	幅：325mm 高さ(豆ホッパー含)：680mm 奥行：556mm
重量(乾燥)	約33-43kg(モデルにより異なります)
連続騒音レベル(Lpa)*	<70dB(A)

当仕様は予告なく変更することがあります。

\* マシン周囲の騒音レベルはアイドル中も稼働中も70dB以下。

### 設置と使用の環境

電気設備、給水設備、排水設備等の施設に関する準備は、お客様の管理下でご用意ください。これらの作業はご使用地域の規制を遵守し、資格のある技術者の方にご依頼ください。WMFの技術員は、コーヒーマシンをご用意いただいた設備に接続いたします。WMFの技術員は、あらかじめ用意された電気、給水、排水の設備の状態の責任は負えません。

#### ※.浄水器の取付スペース

直径200mm以上、高さ650mm以上。

ホース類のスペースを確保する事。

※.最低水量2L/分、最低水圧0.2Mpaを下回る条件下では加圧ポンプが別途必要です。

本製品はPSE法適合機器であり、PSEマークは本体メイハンに付けてあります。

不具合のある電源プラグやケーブルはWMFジャパンまたはWMFジャパン認定の技術者が交換してください。

電源電圧許容範囲	200V +6% -10% 機能に影響しない停電時間<50ms
給水 (オプションで水道直結方式)	3/8インチコネクター、給水栓、 0.2-0.25mmメッシュの浄水器 流量毎分2リットル時の最低圧0.2Mpa、最大圧0.6Mpa 最高水温 35℃ マシンに付属の新品のホースを使用。新品の浄水器使用。 中古のホースは使用不可。
水質	飲料水使用。dKH5度以上の場所ではカルキ除去 フィルター使用
排水	19mm排水管使用、1mあたり2cm以上の傾斜。
使用温度	5℃-35℃(凍結防止に水抜き)
使用最高湿度	相対湿度80%、露滴なし 戸外での使用禁止
防護度	IP X0
設置面	水平で凹凸なく、しっかりした面に設置する 放水、スチーム噴射などによる洗浄場所への設置は禁忌
マシン周囲の空間	マシン操作、サービス、安全の観点からマシンの横及び後は 壁ないしWMF付属機器以外の機器から最低50mm離す。 マシン設置面からは最低1,100mm確保する。 床からマシン設置面までは最低850mm確保する。 給排水、電気等をマシン下に設ける場合、マシン下の 利用可能空間が少なくなります。
カルキ除去フィルターの 占有空間	カルキ除去フィルターの説明書を参照ください。

上記の技術データは基本的にEU(ヨーロッパ)の規準に基いております。従って、ご使用になる地域の規準をお調べいただき、定められた基準を準拠するようにしてください。

安全性を増すために、漏電検知ブレーカーの使用をお奨めします。  
電源のソケットはショックプルーフソケットをご使用ください。  
マシンをプラグを介さずに直接電源に接続するときは、必ず電源スイッチを備えてください。  
電源スイッチ(電源ソケット)はおお客様の側でご用意ください。  
電源ケーブルが熱い部分に触れないようにしてください。  
マシン側の接続部が損傷した場合、交換はWMFサービスにお任せください。